

LNG 燃料の夜間・錨泊中のバンカリング実施 に向けた検討委員会

第 3 回委員会資料

ガイドライン改訂の方針

令和 6 年 3 月 15 日

株式会社 日本海洋科学
公益社団法人 日本海難防止協会

1 ガイドライン改訂の方針

1.1 ガイドラインの改訂案

これまでの検討結果から、ガイドラインの改訂案について検討をする。

1.1.1 改訂方針

改訂方針は次のとおりである。

以下の調査から、現行ガイドラインの改訂の必要性が認められ、かつ安全性及び妥当性が確認できたものとする。

- 夜間における Ship to Ship 方式による LNG バンカリングの実施要件の検討
 - ・ 夜間岸壁係留中の LNG 燃料船への離接舷に係る操船シミュレータ実験結果
 - ・ 昼間との違いに基づく夜間での実施要件の検討結果
- 錨泊中における Ship to Ship 方式による LNG バンカリングの実施要件の検討
 - ・ 夜間岸壁係留中の LNG 燃料船への離接舷に係る操船シミュレータ実験結果
 - ・ 錨泊船及び LNG バンカー船の 2 船間係留に係る水槽試験・解析結果
- 緊急時対応の手順の指針に関する検討
 - ・ 緊急時対応の検討に係るリスク評価結果

1.1.2 現行ガイドラインの改訂案

Ship to Ship 方式、Truck to Ship 方式及び Shore to Ship 方式のガイドライン改訂案を資料 3-5-1、資料 3-5-2 及び資料 3-5-3 に示す。

